

日 原子力協力 仏

2015年10月3日～5日にフランスのヴァルス首相が来日。
5日には原子力協力に関するハイレベル対話や首脳会談が開かれました。
それはどんな内容だったのか？
エネルギー基本計画のこのフレーズを確認した上で見ていきましょう。

震災前に描いてきたエネルギー戦略は白紙から見直し、
原発依存度を可能な限り低減する。
ここが、エネルギー政策を再構築するための出発点であることは言を俟たない。

参考資料①p.4

2015年10月5日 日仏原子力協力に関するハイレベル対話

共同プレスリリース（一部抜粋）

参考資料②

1 双方は、安定的なエネルギー供給と確保は、世界の安全保障のために重要であることを確認し、原子力エネルギーの役割について議論した。

2 双方は、自国のエネルギー政策における原子力の位置付けを確認し、
エネルギー自給、経済競争力及び気候変動対策に原子力が貢献することを強調した。

3 双方は、引き続き、
新型炉の構想及び促進、核燃料サイクルの維持、廃炉技術の開発等、
両国の産業界が構築してきた**協力関係が維持される**ことを強調した。

4 双方は、AREVA社と三菱重工業とのパートナーシップによって開発され、
最も高い水準の安全性を有する

日仏原子炉 ATMEA-1 に関する協力の重要性を確認した。

(中略)

両首相は、同原子炉がトルコのシノップ計画において初の成功例となったことを歓迎した。
双方は、引き続き**その他の第三国において、同原子炉の広範な普及を継続する**
ことで一致した。

5 双方は、使用済核燃料の効率的かつ環境保護のための管理方法として、
再処理を実施することで見解の一致を確認した。

(項目6, 7は略)

参考資料③④⑤

ATMEA-1 (アトメア-1)

三菱重工とAREVA社の合弁会社「ATMEA」(2007年9月設立)が開発する
出力110万kW級の加圧水型原子炉。

トルコのシノップ計画

トルコ黒海沿岸のシノップ地区に4基の原子力発電所を建設・運営する計画。

2013年10月にトルコ政府と商業契約で大枠合意。

2015年10月にトルコのエルドアン大統領が毎日新聞に寄稿した文では

『黒海沿岸で建設予定のシノップ原子力発電所は両国関係が

戦略的パートナーシップに成長する象徴だ。

プロジェクトに関わる日本企業がいち早く建設作業を始めることを

期待している。』と書かれています。

安倍首相発言（一部）

地下資源の少ない両国にとって、**安全保障上、原子力は重要なエネルギー源**です。経済成長、世界の原子力安全の向上を図るため、優秀な人材と技術を維持し、**原子力産業の健全な発展を促すことが重要**であります。

私とオランダ大統領及びヴァルス首相は、『特別なパートナー』として**世界の平和と安定、繁栄に積極的に貢献したい**と願ってきました。**日仏の原子力協力は、それを実現するもの**であります。

2015年10月5日 日仏共同記者会見

安倍首相発言（一部）

日仏の原子力協力の重要性を確認いたしました。日仏両国は、高い技術と優秀な人材で原子力の分野でも世界をリードしてまいりました。日本は、**福島第一原発事故の経験と教訓を、フランスを含む国際社会と共有することによって、原子力安全の向上に貢献をしていく**考えであります。

ヴァルス首相発言（一部）

私に同行しているフランスの原子力産業の責任者は、日本側のカウンターパートに実際に会い話し合うことができました。我々2人は、先ほどの原子力関係者との会合の最後に、閣僚たちの前で**原子力産業についての戦略および我々のパートナー関係を歓迎**しました。

フランスと日本の間の原子炉アトメアの共同開発協力はフランスおよびフランスの産業にとって非常に重要な論点であり、**我々は第三市場にアトメアを売り込む努力を重点的に強化**することを確認しました。

日本政府および安倍総理に、**日本の原子力産業がフランス原子力産業の資本の再編に参加**することを提案しました。我々は、日本の戦略的な参加を提案します。

少しだけ感想を

『原子力は重要』で『健全な発展を促す』そしてフランスと協力して世界に原発を売り込む、と。これが『原発依存度を可能な限り低減する』という言葉と矛盾しない行動に見える人はいるのでしょうか？

『震災前に描いてきたエネルギー戦略は白紙から見直し、原発依存度を可能な限り低減する。』とエネルギー基本計画は言いますが、これじゃあ、白紙にした後で、改めて震災前と同じ事を書いちゃってるのと同じです。エネルギー基本計画には『使用済燃料問題、最終処分問題など、原子力発電に関わる課題は山積している。』とも書いてあります。それを自覚しておきながら、海外に売りまくるなんて許されることではないと思います。エネルギー基本計画の『ベースロード電源』だけは着実に実行していくのに『可能な限り低減』については何が実行されたのでしょうか？

参考資料

- ①経産省HP 新しいエネルギー基本計画が閣議決定されました
<http://www.meti.go.jp/press/2014/04/20140411001/20140411001.html>
- ②外務省HP 日仏原子力協力に関するハイレベル対話（概要）「共同プレスリリース」
http://www.mofa.go.jp/mofaj/dns/n_s_ne/page1_000140.html
- ③三菱重工HP ニュース2007年9月3日「第3世代原子炉のための新会社ATMEAをフランスに設立」
<http://www.mhi.co.jp/news/story/200709030038.html>
- ④三菱重工HP ニュース2014年1月7日「トルコ原子力IPP推進室」を新設 シノップ原子力発電所プロジェクトへの取り組みを加速」
<http://www.mhi.co.jp/news/story/1401075470.html>
- ⑤毎日新聞 2015年10月8日「トルコ大統領：日本とのEPAに意欲」
<http://mainichi.jp/select/news/20151008k0000m030135000c.html>
- ⑥首相官邸HP 日仏原子力協力に関するハイレベル対話
http://www.kantei.go.jp/jp/97_abe/actions/201510/05gensiryoku.html
- ⑦首相官邸HP 日仏共同記者会見
http://www.kantei.go.jp/jp/97_abe/statement/2015/1005france.html